

加須市魅力ある学校づくり基本方針（案）概要版

1 加須市が目指す学校教育の姿

（１）目的

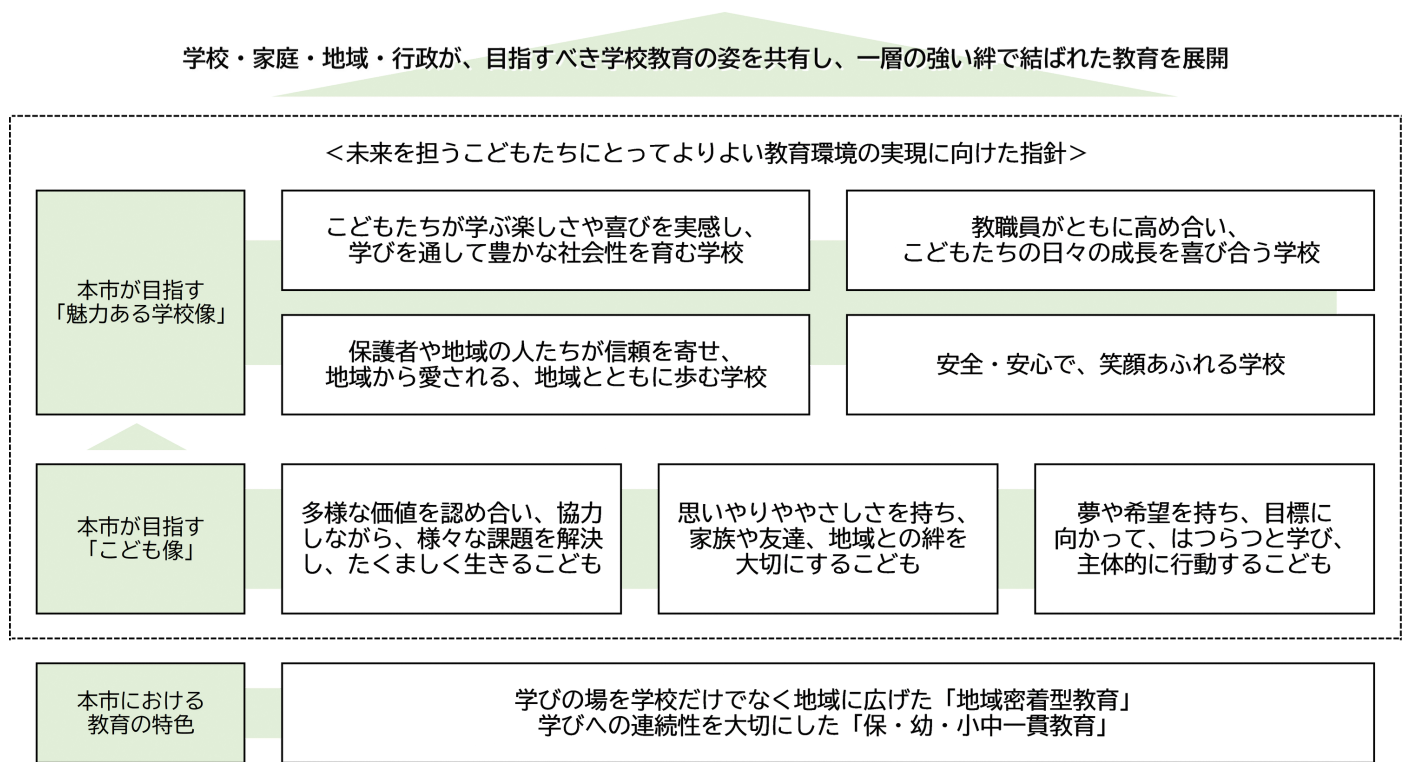
本市では、市立小中学校のあり方についての具体の検討を契機に、未来を担うこどもたちにとってよりよい教育環境を実現するため、「未来を見据えた持続可能な魅力ある学校づくり」の推進に取り組みます。

（２）未来を見据えた持続可能な魅力ある学校づくり

魅力ある学校づくりを進めるため、本市が目指す学校教育の姿として、「こども像」と「魅力ある学校像」を次のとおり設定します。

本市における教育の特色のもと、学校・家庭・地域・行政が目指すべき学校教育の姿を共有し、未来を見据えた魅力ある学校の実現を目指します。

未来を見据えた持続可能な魅力ある学校の実現



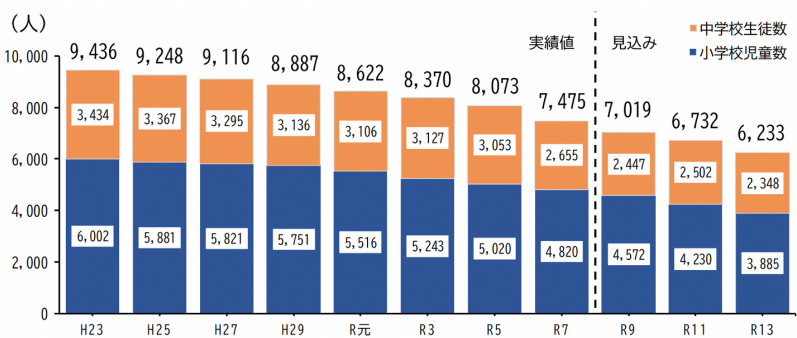
2 加須市の現状と見込み（学校ごとの詳細は裏面参照）

児童生徒数は、平成23年以降、減少傾向が続いています。

児童生徒は、多様な人間関係の中で社会性を育てていくことから、児童生徒数の減少による学校の小規模化は、こどもの豊かな社会性を育む視点からも憂慮すべき状況です。

また、保護者や地域の方から今後の小中学校のあり方について懸念する声が寄せられるようになりました。

【児童生徒数の推移と見込み】



3 学校規模・学校配置の方針

未来を見据えた持続可能な魅力ある学校を実現するため、未来を担うこどもたちにとってよりよい教育環境となる学校規模・学校配置の方針を次のとおり定めます。

（１）学校規模の方針

「望ましい学級数の目安」を目指しつつも、「少なくとも必要な学級数の目安」を重視し、今後20年を見据えた持続可能な学校規模を検討します。

望ましい学級数の目安	小学校12学級以上	中学校9学級以上
少なくとも必要な学級数の目安	小学校6学級以上	中学校3学級以上

（２）学校配置の方針

「学校規模の方針」とともに、「学校配置の考え方」に基づき、今後20年を見据えた持続可能な学校配置を勘案し、統廃合等の学校再編に向けた方策を検討します。

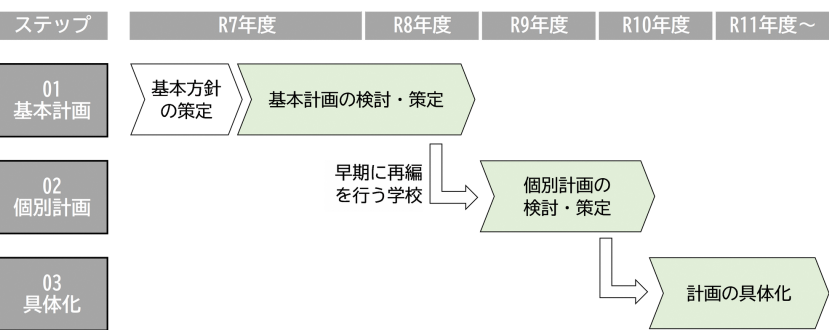
学校配置の考え方

- 国が示す通学距離、通学時間に関する考え方も参考とする。
- 必ずしも行政区やこれまでの通学区域に捉われない全市的視野に立つとともに、学校施設の老朽化等への対応状況や地域特性などを勘案する。
- 保護者や地域住民との十分な合意形成を基本に、対象となる市立小中学校のうち小規模化が顕著な小学校を最優先に順次進める。

4 今後の進め方

基本方針の策定後は、「基本計画の策定」「個別計画の策定」「計画の具体化」という3つのステップを踏んで進めていきます。

各ステップでは、保護者や地域住民の皆様との十分な合意形成を基本に、意見交換会やパブリックコメントなどを通じて、皆様の声を丁寧に伺い、計画に反映していきます。



未来を見据えた持続可能な魅力ある学校づくりの推進
未来を担うこどもたちにとってよりよい教育環境の実現

基本方針の本編や児童生徒へのアンケート調査の結果は、市ホームページで公開しています。

加須市魅力ある学校づくり基本方針（案）



加須市魅力ある学校づくりに関する
児童生徒アンケート調査結果



令和7年6月24日時点

問い合わせ先

加須市教育委員会 生涯学習部教育総務課
魅力ある学校づくり推進室（加須市役所 3階）
TEL: 0480-62-1111
E-mail: miryoku-gakko@city.kazo.lg.jp

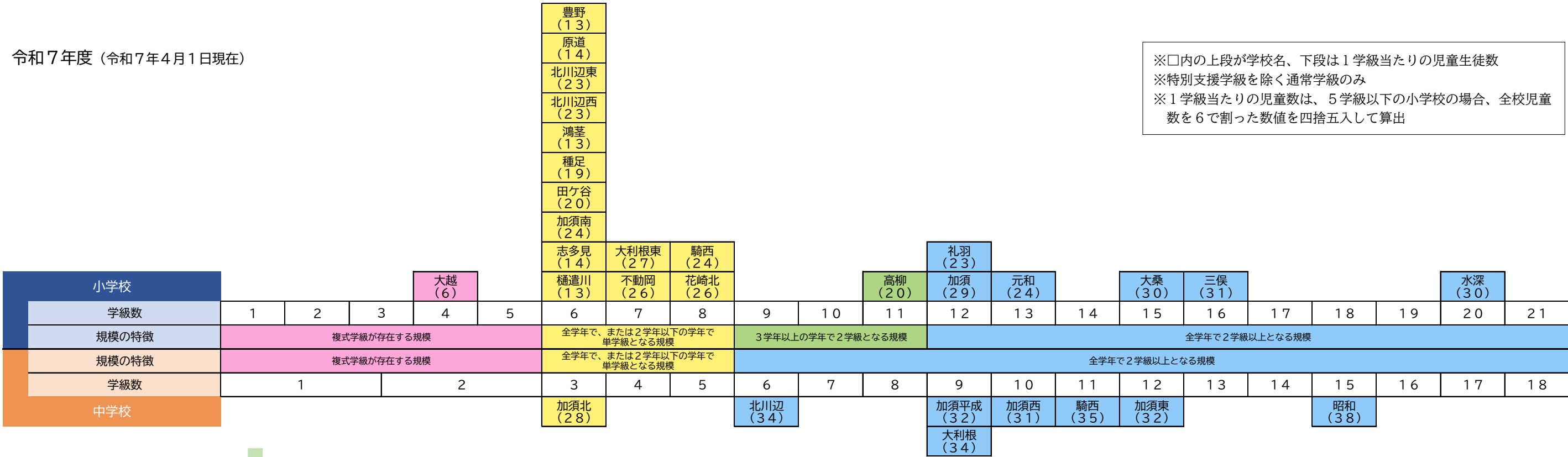
【学校別の学級数及び1学級当たりの児童生徒数の現状と見込み】

令和7年度（現状）と令和13年度（見込み）の学校別学級数と1学級当たりの児童生徒数を規模の特徴ごとに図で示したものです。

令和7年度から令和13年度にかけて、ほぼ全ての小学校において学級数が減少する見込みです。中でも、複式学級が存在する学校数は、令和7年度の1校から令和13年度には6校と大幅に増加しています。

小学校	過小規模校	小規模校	中規模校	大規模校
中学校	過小規模校		小規模校	中規模校

令和7年度（令和7年4月1日現在）



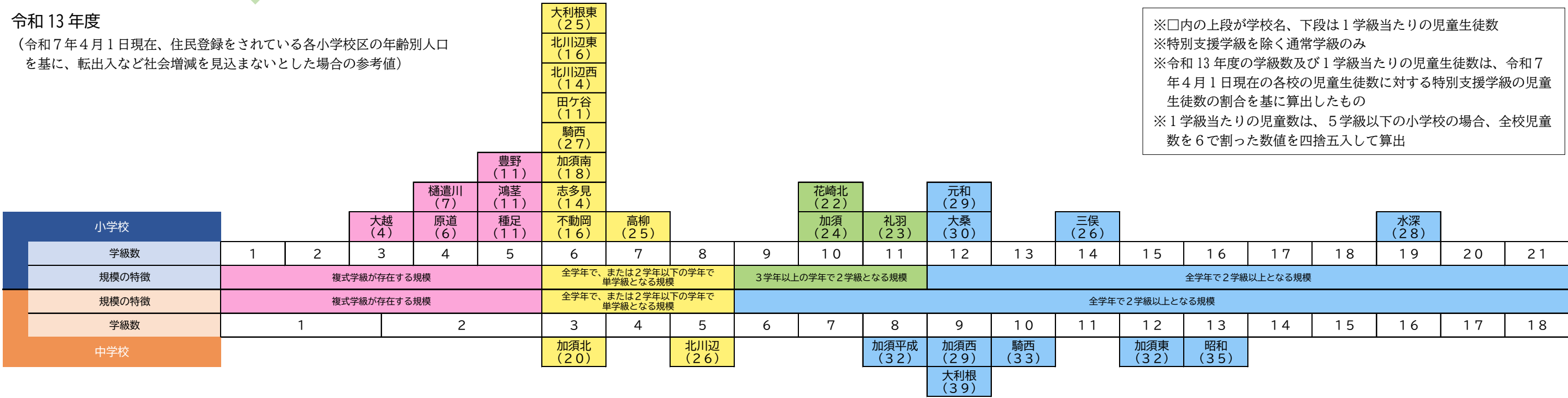
※□内の上段が学校名、下段は1学級当たりの児童生徒数

※特別支援学級を除く通常学級のみ

※1学級当たりの児童数は、5学級以下の小学校の場合、全校児童数を6で割った数値を四捨五入して算出

令和13年度

（令和7年4月1日現在、住民登録をされている各小学校区の年齢別人口を基に、転出入など社会増減を見込まないとした場合の参考値）



※□内の上段が学校名、下段は1学級当たりの児童生徒数

※特別支援学級を除く通常学級のみ

※令和13年度の学級数及び1学級当たりの児童生徒数は、令和7年4月1日現在の各校の児童生徒数に対する特別支援学級の児童生徒数の割合を基に算出したもの

※1学級当たりの児童数は、5学級以下の小学校の場合、全校児童数を6で割った数値を四捨五入して算出